

Psychosomatics (発行 2007 年 11-12 月)	A comparison of psychiatric consultation liaison services between hospitals in the United States and Japan.	Okuyama T	精神科
Psychiatry and Clinical Neurosciences 2007 (発行 2007 年 12 月)	Emotional distress and its correlates among parents of children with pervasive developmental disorders	Atsurou Yamada	精神科
Radiotherapy and Oncology (発行 2007 年 5 月)	Influence of contrast materials on dose calculation in radiotherapy planning using computed tomography for tumors at various anatomical regions: a prospective study.	Shibamoto.Y.	放射線科
Journal of Computer Assisted Tomography (発行 2007 年 11 月)	Comparison of two contrast materials with different iodine concentrations in three-dimensional CT angiography of the hepatic artery at multi-detector row CT: a randomized study.	Suzuki H	放射線科
Journal of Thoracic Oncology (発行 2008 年 月 1 日)	Invasive thymoma: postoperative mediastinal irradiation, and low-dose entire hemithorax irradiation in patients with pleuraldissemination.	Sugie C	放射線科
Journal of Vascular and Interventional Radiology (発行 2008 年 2 月)	Embolization of a right gastroepiploic artery pseudoaneurysm associated with Churg-Strauss syndrome.	Shimohira M	放射線科
J Anesth (発行 2007 年 月 日)	Circulatory collapse caused by unnoticed hypermagnesein in a hospitalized patient.	祖父江 和哉	麻酔科
Anaesth Intensive Care (発行 2007 年 月 日)	Peripheral nerve injury caused by misuse of elastic stockings.	平手 博之	麻酔科
J Anesth (発行 2007 年 月 日)	Cardiac output increases the rate of carbon monoxide elimination in hyperpneic but not normally ventilated dogs.	竹内 昭憲	麻酔科
J Anesth (発行 2007 年 月 日)	The skin-traction method increases the cross-sectional area of the internal jugular vein by increasing its anteroposterior diameter	森田 正人	麻酔科
人工呼吸 (発行 2007 年 12 月 日)	呼吸性洞性不整脈に及ぼす低酸素血症の影響	笹野 寛	麻酔科
集中治療医学会雑誌 (発行 2007 年 7 月 日)	敗血症性ショック下に発生した難治性心室頻拍に対して 37 日間の塩酸ニフェカラント投与が奏効した 1 例	祖父江 和哉	麻酔科

J Neurosurg (発行 2007 年 106 126-130)	Tailor-made orbito-cranioplasty for a spheno-orbital encephalocele presenting as pulsatile exophthalmos	Katano H	脳神経外 科
Stroke (発行 2007 年 38 3040-3044)	Analysis of calcium in carotid plaques with Agaston scores for appropriate selection of surgical intervention	Katano H	脳神経外 科
脳卒中の外科 (発行 2007 年 35 382-386)	3D-CTA による頸動脈狭窄症治療後の経過 観察	片野 広之	脳神経外 科
機能脳神経外科 (発行 2007 年 46 56-57)	高齢者パーキンソン病に対する視床下核刺 激療法の効果および安全性についての検討	梅村 淳	脳神経外 科
機能脳神経外科 (発行 2007 年 46 105-110)	パーキンソン病に対する視床下核刺激療法 の刺激合併症とその対策	梅村 淳	脳神経外 科
Nagoya Med J (発行 2007 年 49 61-70)	Spontaneous leakage of cerebrospinal fluid causing headache: Diagnosis and treatment based on radionuclide cisternography	Nishio M	脳神経外 科
現代医学 (発行 2007 年)	綜説：病院における口腔ケア（最近の知見 から）	横井 基夫	歯科口腔 外科
Modern Patology (発行 2007 年)	Imunoglobulin VH gene analysis in gastric MALT lymphoma	Hidenori. Sakuma	歯科口腔 外科
Nagoya Medical Journal (発行 2007 年)	Masseter Muscle Contraction of TMD Patients in Terms of Their Particular Psychological State under Experimental Stress	Kunio TSURUMI	歯科口腔 外科
Hepato Res. (発行 2008 年 3 月 日)	Development and public release of a comprehensive hepatitis virus database.	Shin-I T, et al.	中央臨床 検査部 (臨床分 子情報医 学)
J Gastroenterol Hepatol. (発行 2008 年 3 月 日)	Virological and clinical implication of core promoter C1752/V1753 and T1764/G1766 mutations in hepatitis B virus genotype D infection in Mongolia.	Elkady A, et al.	中央臨床 検査部 (臨床分 子情報医 学)

Virus Res. (発行 2008 年 3 月 日)	Transmission of hepatitis B virus (HBV) genotypes among Japanese immigrants and natives in Bolivia.	Khan A, et al.	中央臨床 検査部 (臨床分 子情報医 学)
J Med Virol. (発行 2008 年 2 月 日)	Epidemiological and clinical evaluation of hepatitis B, hepatitis C, and delta hepatitis viruses in Tajikistan.	Khan A, et al.	中央臨床 検査部 (臨床分 子情報医 学)
Rinsho Byori. (発行 2007 年 11 月 日)	[Predicting sustained virological response in chronic hepatitis C patients treated with pegylated interferon and ribavirin using a novel highly sensitive Real-time detection PCR assay]	Matsuura K, et al.	中央臨床 検査部 (臨床分 子情報医 学)
Hepatol Res. (発行 2008 年 3 月 日)	Development and public release of a comprehensive hepatitis virus database.	Shin-I T, et al.	中央臨床 検査部 (臨床分 子情報医 学)

合計 217 件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 戸苺 創
管理担当者氏名	事務課長 下村 卓也

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病歴センター 事務課 各診療科 薬剤部	処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、入院診療要約など医療情報を一元管理している。また、紹介状及び入院診療計画書についてもスキャナーによる読み込みにより電子記録化している。 なお、電子記録化前の手術記録、看護記録、検査所見記録、入院診療要約、紹介状、入院診療計画書等については、カルテに添付して整理、入院分カルテは病歴センターで一括し、外来分カルテ及びエックス線写真は各診療科外来診療室において保管している。なお、入院カルテ及び外来カルテとも1診療科1カルテの形態で作成され、保管されている。 処方せんについては、薬剤部において保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	事務課	/
	高度の医療の提供の実績	事務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	事務課	
	高度の医療の研修の実績	事務課	
	閲覧実績	事務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
確規保則の第9条の23及び第1条の	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	/
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	

1 1 各号に掲げる体制	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	業務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	業務課
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	業務課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	業務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務課長 下村 卓也
閲覧担当者氏名	事務課事務係長 青山 賢二
閲覧の求めに応じる場所	事務課事務係

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	59.0 %	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	10,242人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,896人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,352人	
	D: 初診の患者の数	26,118人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任(3)名 兼任(4)名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 再発防止のための事例収集及び再発防止策の策定と実行・ 安全確保のための研修会や講演会の企画・運営・ 医療事故防止等検討委員会・リスクマネージャー会議の企画・運営・感染対策委員会・感染対策チーム会(資料、議事録の作成及び保存)・ 医療事故調査委員会設置・ 患者相談室との連携	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：(別紙資料1を参照)・ 安全管理のための理念・安全管理に関する基本的な考え方・安全管理のための組織・ 医療事故防止等検討委員会設置要綱・リスクマネージャー会議運営要綱・医療事故調査委員会設置要綱・ 患者相談室設置規定・ インシデント・アクシデントレポートの電子報告システム・ 医療事故(アクシデント)報告制度・公表基準・ 共通診療マニュアル・部門別診療マニュアル	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：(別紙資料2を参照)・ 安全管理体制の確保に関すること・ 安全管理のための教育・研修に関すること・ 医療事故防止のための周知・啓発及び広報に関すること・ 医療事故の事例検討及び事故防止策に関すること・ 医療事故発生時における検証と再発防止策に関すること・その他医療事故防止に関すること	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年44回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：(別紙資料3を参照)・ 安全管理に関する研修(研修医・研究医・新規看護師・新規職員・中途採用者)・ 医療事故防止講演会(感染対策講演会)・危機管理研修会(重大事例報告会)・ 院内BLS講習会・安全管理研修会(暴力・暴言を考える会)・気管切開チューブ研修会	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：(別紙資料1を参照)
- ・ リスクマネジメントマニュアルの定期的見直し(追録・加除修正)
- ・ 安全管理に関する自己点検評価報告書の提出・まとめ
- ・ 事例収集による分析(定量及び定性分析)・対策
- ・ RM ニュースの発行、
- ・ eラーニングの検討
- ・ 暴力対策の検討
- ・ 院内BLS(一次救命処置)講習会